

市内NPO法人数	29 団体
当センター登録団体数	98 団体
当センター登録会員数	6,085人
9月来館者数	1,531人
9月印刷機利用枚数	55,628枚

H26年9月末日現在

ひびき



発行枚数 400枚 発行人 龍ヶ崎市市民活動センター長 田沼信之

龍ヶ崎市市民活動センターは、社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
 会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等（1階）や大会議室・
 小会議室・パソコン室・和室・工作室（2階）・陶芸室（1階外倉庫隣り）がご利用いただけます。
 開館時間 = 午前9時～午後7時（日曜祝日は午後5時まで）2階各室は夜間（午後10時まで）利用可能です。
 休館日 = 月曜日および年末年始

〒301-0004 龍ヶ崎市駒馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571

E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL <http://www11.ocn.ne.jp/~r-shimin/>

（Google又はYahooから「市民活動日本一」で検索→「龍ヶ崎市市民活動センター」をご覧ください。）

今月のトップニュース

センター長の「目指せ！市民活動日本一」その21

特定非営利活動法人 茨城県南生活者ネット（現在の市との協働事業者 略称KCN）が公募の結果
 「来年度から5年間の指定管理者」の候補者として選定を受けました。

KCNは、ふるさと龍ヶ崎戦略プラン「市民活動日本一」を目指し、団体への支援活動を飛躍します。

今後は、12月議会の承認後、協定書を締結します。

以下に、これからの市民活動センター運営についての計画等を紹介いたします。

- ①これまで施設管理は市、企画・運営はKCNで役割分担する「協働事業」により運営されてきましたが、来年4月から「指定管理者制度」による運営（いわゆる民営化）に変わります。これにより市の役割は業務計画の承認・指導監督・報告の検収・指定管理料金の支払いが主たる役割で計画書の提出及び伺い・業務の履行・完了報告がKCNの役割となります。要すれば、市とKCNの関係は発注者と請負者になります。
- ②これまで市が委託管理していた設備の点検、警備、清掃などと、市の職員が主に実施していた敷地内の除草作業や電気・水道料金などの支払いもKCNが行います。
- ③管理施設の利用範囲は市の定めによるものとしますが、自主事業について市の承認を得たものについてのみ KCNの責任において事業展開します。
- ④指定管理者選定委員会の皆様に高い評価をいただいた項目を最重要課題として取り組みます。（以下の通りです。）
- ⑤「市民活動日本一」を目指し5年後の目標値を実現します。（年間利用者20,000人 登録団体150ほか）
- ⑥利用者第一を理念とし、KCNは可能な限り活動団体のStepUpのお世話役に徹します。（自主事業の拡大やイベント・セミナーについても可能な限り利用者のニーズを実現します。）別途登録団体交流会（つどい）を開催する予定です。利用者アンケート制度も導入します。
- ⑦施設各室の更なる機能強化を進めるとともに美化を進めます。館内のレイアウト変更も検討します。
- ⑧広大な敷地を最大限に有効活用するために館外活動の企画・推進に着手します。
 - ・市民活動フリーマーケットの開催に着手します。（インターネットフリーマーケットへの進化も含みます）モノづくり活動をしている皆さんの作品を市場投入して、皆さんの活動資金に還元したいと思います。
 - ・龍ヶ崎が誇る無農薬農業教室の開催に取り組みます。
 - ・都心に近い恵まれた自然環境の創生（ビオトープの製作）と鑑賞会の開催に取り組みます。
 - ・「龍ヶ崎発明教室」等の市民活動発明品を流通化しその普及に取り組みます。
 - ・まいりゅう小中学生科学クラブ活動の更なる普及拡大を目指し「子どもの健全な育成活動」をより推進します。
 - ・その他、市の承認が得られた活動は可能な限り実施します。
- ⑨インターネットを駆使して龍ヶ崎市の市民活動を全国へ広報し、日本一を目指すことで、「ひとが元気 まちも元気 自慢したくなるふるさと 龍ヶ崎」の更なる創生に貢献したいと思います。
 - ・Google検索「市民活動日本一」ランキング1位のホームページ運営を進めます。
 - ・「センター長フェイスブック」を駆使して「龍ヶ崎の自慢」を全国の仲間との「ふれあい活動」に展開します。
 - ・龍ヶ崎の魅力を「YouTube」で動画配信し、より多くの市外の皆さんに龍ヶ崎に来てもらいたいと思います。
 - ・市内で活躍する多くの「市民活動団体」の皆さんをインターネット放送を通して、活動紹介もすることで全国に自慢してもらいたいと思います。
- ⑩自主活動の財源はほとんどありません。皆さんと共に創り出していきたいと思っています。ご協力をお願いします。





一年で6場所行われる国技・大相撲はTV放送されており、知らない方はいないでしょう。また龍ヶ崎市出身の大関稀勢の里の活躍ぶりも多くの方がご存じでしょう。しかし、地方巡業で行われている相撲甚句を聞いたことがない人は意外に多いのかもしれませんが。この度、牛久相撲甚句の会の支部として「龍ヶ崎相撲甚句教室」が立ち上がることになりました。江戸時代から続く相撲界の民謡・相撲甚句の元気な歌声が龍ヶ崎でも響きわたります。年齢経験関係なく、楽しく元気をモットーにしています。多くの参加をお待ちしています。

公園の里親「のぼさんクラブ」

代表 中村明冬様 66-1951

9月16日(火)の少し暑い中、10人が参加して北竜台公園(ケーズデンキ側)のゴミや不要物を取り除く作業を午前9時～11時まで行いました。植え込みの雑草や枯れ草を取り、憩いの場の落ち葉の片づけ、枯れ木の除外などの美化作業を行いました。北竜台公園の限られた部分ですが、おかげさまできれいになりました。そして気持ちもきれいになりました。終了解散した後、代表ともう1名で菖蒲池の見回りと、整備も行いました。活動日は毎月第1月曜日、第2月曜日、第3火曜日です。仲間を募集しています。



龍ヶ崎バードウォッチングクラブ

代表 岸 久司様 66-8238



8月30日(土) 龍ヶ崎バードウォッチングクラブ主催による野鳥の楽園バードピア説明会が日本鳥類保護連盟市田氏を講師に招いて開催されました。バードピアとは野鳥(バード)と楽園(ユートピア)を合わせた言葉とのことです。市民活動センターは学校の跡地を活用して運営されており、広大な敷地と樹木もあります。さらに野鳥も飛来しています。プール(水場)もあります。ないのは看板と実のなる木・餌台・巣箱ぐらいです。関係者の知恵を結集し「龍ヶ崎市市民活動センターバードピア」の設立を段階的に進めることとしました。



全日本写真連盟 ひたち野支部

代表 小松塚五郎様 66-4156

第4回写真展がショッピングセンター サプラの多目的ホールで9月11日(木)～15日(月)に開催されました。自然界、人、景色、動物、春夏秋冬の季節、朝、昼、夜、外国などの「不思議な現象」「一時的な現象」「自然現象」を上手にとらえての45作品が展示されました。思わず微笑でしまうような、うーんとその場にたたずんでしまう。じっと見入ってしまうような感動の作品ぞろいでした。

助成金情報

詳しくは市民活動センターホームページをご覧ください。

募集期間	助成団体名	助成対象
10月31日	日本財団	社会福祉・文化・教育などの事業障がい者就労支援車両含む
10月31日	(独)日本芸術文化振興会	芸術文化振興基金。舞台芸術・映画祭等や、地域文化助成(歴史的町並み・文化財・伝統芸能の保存等)
11月10日	三井物産環境基金	地域環境問題の解決に関わる実践的な活動、研究助成
11月20日	日本たばこ産業	地域コミュニティの再生と活性化、環境美化、次世代の人材育成等

市民活動センターの今月の予定

広報月刊紙「ひびき発行」 10月10日(金)
健康セミナー 10月12日(日)
木工教室 毎週日曜日
絵画デッサン教室 毎週火曜日
太陽光おしゃべりサロン 毎月第3水曜日

子育てはつらつサロン 毎月第3水曜日
ふれあい夜のおしゃべりサロン 毎月最終水曜日
事業企画・戦略会議 毎月第3木曜日
インターネット放送放映 毎月第3金曜日
まいりゅう小中学生科学クラブ 毎月第3土曜日